

要請番号 (JL23924B18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ホンジュラス	I102 障害児・者支援	20~45歳のみ	個別	交替2代目	2年	・2025/2・2025/3・2026/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

フランシスコモラサン県教育事務所

3) 任地 (フランシスコモラサン県サバナグランデ市) JICA事務所の所在地 (テグシガルパ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

フランシスコモラサン県教育事務所は、県内28市の基礎教育にかかる政策・予算・人事の管理を行っている機関で、「財務」「人材能力」「調達」「教育サービス」「企画」「カリキュラム・評価」「教育制度」の7つの局から成る。同事務所には120名のスタッフが在籍しており、インクルーシブ教育を担当する「教育制度局」には10名のスタッフが配属されている。活動校となるフランシスコモラサン小中学校は1915年創立の公立学校で、生徒数は約500名、教員22名の規模。任地となるサバナグランデ市は、首都テグシガルパの南に位置し、トウモロコシ粉のドーナツやクッキーの産地としても知られており、人口は約2.2万人の都市。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

フランシスコ・モラサン小中学校は、インクルーシブ教育の県内唯一のパイロット校として学習障害、ダウン症、脳性まひ、重複障害等の6歳~12歳の児童を普通学級に在籍させ、普通学級のクラスメイトとの遊びや工作活動を推進し、児童同士の理解を促しつつ、読み書きや生活の訓練等を特別支援学級で行っている。同校では、前任の隊員が特別学級の教員1名とともに、子供の特性に応じた授業や指導法の改善、保護者へのアドバイス、インクルーシブ教育の理解促進のための活動、教材・教具作成についての支援・提案を行っており、引き続き隊員の支援を得たいとして、本要請が出された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

特別支援学級の教員と協力しながら以下の活動を行う。

- 特別支援学級の授業を観察し、教材・教具作成の提案、学級経営の改善支援を行う。
- 市内の障害児が在籍する普通学級を巡回し、教員に対し学習環境や子供の特性に応じた指導方法改善のための助言や提案を行う。
- 市内の普通学級の教員に対し、障害児理解、子供の特性に応じた指導方法に関する研修会を計画、実施する。
- 地域住民の障害児への理解を促すための作品発表会やイベントを企画・実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

プロジェクター、プリンター、事務機

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
市教育事務所スタッフ(40~60代)、インクルーシブ教員(50代)

活動対象者:
市内小学校教員(20～60代)、児童、保護者

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：()

[学歴]：(大卒) 備考：同僚の学歴と同等とするため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 2年以上 備考：教員への助言を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(15～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

原則ホームステイとする。但し、現地事情により一人暮らしとなる可能性もある。